

みやぎ 県政だより

毎月1日発行
平成18年11月1日
第440号
NOV.2006

11

特集
地域がかかわり
子どもたちを育てる



リアス牡蠣まつり唐桑(気仙沼市)

今が旬のかき。会場ではかきの即売や試食コーナーのほか、「元祖かき殻積み大会」なども行われます。今年(11月19日)に開催されます。
問:気仙沼市唐桑総合支所産業課 ☎0226(32)4527



発行 宮城県総務部広報課 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 ☎022(221)2280 FAX 022(221)2280 URL http://www.pref.miyagi.jp/kohou/ 印刷 仙台印刷工業団地印刷部



みやぎ旬の食材



豊かな海で育つみやぎのかき

栄養豊かな親潮と多くの川が流れ込むみやぎの海は、かきのえさとなる植物プランクトンが豊富で、古くからかきの養殖が盛んです。宮城県のかきの生産量は全国第2位(平成17年)で、主に生食用として出荷されています。

栄養たっぷり

かきは、「海のミルク」と呼ばれるほど栄養価が高く、疲労回復や体力増進を図るグリコーゲンのほか、タウリンやミネラルなどが豊富。寒くなるこれからの季節は、グリコーゲンが増し、栄養・うまみともに抜群です。



かき鍋

新鮮なものをおいしく

むき身で購入する場合は、身がふっくらとしていて透明感のあるものを選び、大根おろしや塩で洗ってから調理するのがポイント。生でいただくのはもちろん、鍋物やフライ、天ぷらなど幅広い料理でおいしく召し上がれます。



食産業・商業振興課
☎022(211)2814



地域と学校のコラボレーション!

今月の20日で知事に就任して1年になります。1年間はあっという間でした。宮城を経済的に豊かにすることによって、素晴らしい教育や福祉・環境・社会資本整備を実現する「富県みやぎ」を掲げ、全力で県政運営に取り組んでいます。

最近、時間があれば企業立地を進めるため、県外の企業を訪問し宮城の良さをPRしていますが、その際よく教育について質問を受けます。企業が宮城に進出する際、当然多くの方が家族と一緒に移り住むことになり、お子さんの教育環境のことがとても気になるようです。また、多くの県民の皆さんからも、これからの宮城の発展を考えた場合、人材の育成が最も重要であるというお話をよく伺います。

そこで県では教育の更なる発展を目指し、地域と学校が協力して教育活動を行うという協働教育をスタートさせました。ここでいう「協働」は英語の「コラボレーション」を訳す時に使われる言葉です。このコラボレーションという言葉には「意外な組合せ」といった意味を込めて使われることもあるそうです。例えば、広告やコマーシャルの中で全くジャンルが違う別会社の商品を2つ同時に紹介するといった場合に使われます。

従来の教育は学校任せ、家庭任せでありましたので、そこに地域が深くかかわるということは意外な組合せになるのかもしれませんが。

この協働教育が県内くまなく浸透して、昔のように他人の子どもも自分の子どもと同じように育てることが地域で当たり前になり、意外な組合せではない時代が来ると信じて協働教育を推進していきたいと思っています。

宮城県知事 村井 嘉浩

炭づくりから働くことの厳しさ・やり遂げた喜びを学ぶ

～七ヶ宿町立関小学校～
(コラボスクール実践校)



狭い窯の口から炭を取り出します

七ヶ宿町立関小学校では、地域と協働して炭づくり体験や通学用品作りなどで歩こう七ヶ宿への参加を行っています。今回は、五年生九人が行っている炭づくり体験のうち、八月に行われた炭出し作業取材しました。

関小学校では、地域と協働して炭づくり体験や通学用品作りなどで歩こう七ヶ宿への参加を行っています。

田中さんです。子どもたちはお二人の指示に従い、順番に窯に入り、六月に窯入れした炭を取り出していきます。約一時間かけてすべての炭を窯から取り出したころには、子どもたちの顔や手は炭で真っ黒になっていました。取り出した炭を袋



立派な炭ができました

に詰めるべく、五キログラムの袋で二十四袋になりました。この量の炭を窯から取り出し、袋に詰めるのはかなりの重労働だったはず。子どもたちからは「疲れた」「大変だった」との声があまり出たが達成感からか、その表情はとてすがすがしく、たのが印象的でした。子どもたちはこの活動からさまざまなことを学びました。この活動を行うにあたっては、事前に地域の伝統産業である炭について学習しました。

また、炭づくりを、実際にやってみて、働くことの厳しさややり遂げた喜びを学んだはず。そして、まるでおじいちゃんのようにやさしく指導してくれる講師のお二人とのふれあいは、楽しい思い出になることでしょう。講師の田中さんと田中さんは「この活動のおかげで孫のような子どもたちとふれあうことができてうれし。将来、子どもたちがここを離れることになっても、この体験を思い出して、ふるさとのことを誇らしく語ってほしい」と話していました。炭づくり体験は子どもたちにとって貴重な体験になりましたが、講師のお二人にとっても楽しい思い出になることでしょう。



できた炭を袋に詰めます

地域の大人たちが

「みやぎらしい協働教育」は県内全域に広がっていきます。皆さんがお住まいの地域で活動が行われるときは積極的に参加して、地域の子もまたにかかわっていきましょう。

子どもたちはこれからの宮城県を担う大切な人材です。この機会に、私たち大人が地域の子もまたのために何ができるかをあらためて考えてみましょう。

お問い合わせ

生涯学習課

022-822-1100

http://www.pref.miyagi.jp/syougaku/

地域がかかわり 子どもたちを育てる



子どもたちは成長の過程で、地域の文化や産業、文化、自然などにかかわる体験を通して、社会で生きていくために必要な思いやりや協調性、行動力、課題を解決する力などを培っていきます。

子どもたちが、社会で生きていくための力を培うためには、成長の過程で、地域の人たちや産業、文化、自然などにかかわる体験をすることが必要です。県では、子どもたちが地域とかがわりながら成長できるよう、地域と学校が協力して子どもたちを育てる「みやぎらしい協働教育」に取り組んでいます。

地域とかがわりが 減っている

近年の都市化や少子化などの社会の変化は子どもたちと地域のかかわりに大きな変化をもたらしています。都市化や少子化が進み、隣近所の付き合いや地域の行事などが減ったことで、子どもたちが地域の文化や産業、文化、自然などに触れたりする機会が減っています。

しかし、子どもたちと地域のかかわりが減っている現代社会では、子どもたちが社会で生きていくための力を培う体験を十分に行うことができません。このため、子どもたちが地域とかがわる機会を増やしていく取り組みが必要になっていきます。

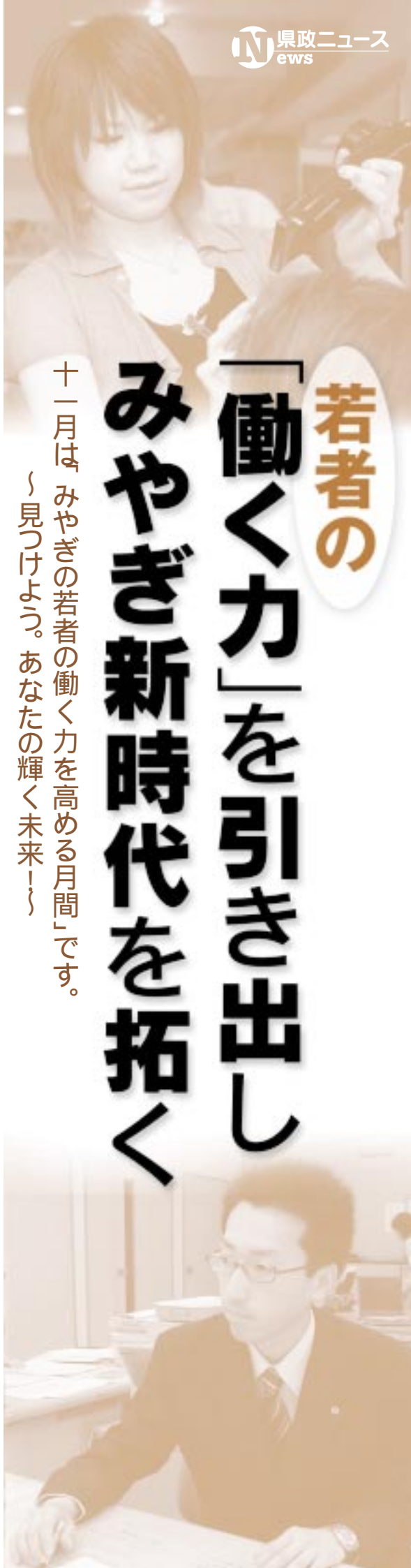
地域と学校が協働する

県では、子どもたちが地域とかがわりながら成長できるよう、地域と学校が協力して子どもたちを育てる「みやぎらしい協働教育」に取り組んでいます。地域と学校が協働することで、子どもたちが地域の文化や産業、文化、自然などに触れたりする機会を増やします。現在、モデル実践校として、県内三十一の小学校で「コラボスクール」(1)や起業教育(2)が行われています。モデル実践校の一覧は、みやぎらしい協働教育ホームページ(http://www.pref.miyagi.jp/syougaku/kyodo/)をご覧ください。

活動を継続しよう

「地域と協力して活動を行いたい」と、学校の教育に参加したい」といった学校や地域の要望を調整して活動に力をつけていくためには、地域と学校の連携が必要。みやぎらしい協働教育では、地域と学校の連携として、行政や学校PTA、地域の住民・団体などからなる組織を学校「コラボスクール」としています。これにより、県内すべての学校において、学校や家庭を含めた地域全体で子どもたちを育てる活動が継続して行われることを目指しています。

1. 小学校において、農業体験や地域の伝統文化体験など、地域に根ざしたさまざまな活動を行うもの。
2. 中学校において、会社づくりなどの社会の経済活動を体験するもの。起業家の育成のみが目的ではなく、社会人として必要な力をはくむことを目的としている。



若者の

「働く力」を引き出し

みやぎ新時代を拓く

十一月は、みやぎの若者の働く力を高める月間「です。」

〜見つけよう。あなたの輝く未来〜

県内の雇用情勢は改善傾向にあるものの、若者の就職環境は依然として厳しい状況にあり、「フリーター」「ニート」と呼ばれる若者が増えています。

県では、若者がいきいきと働ける環境を築くため、さまざまな支援を行っています。

驚くべき数の「フリーター」「ニート」

近年、働きたくても就職できない若者や、就職しても長続きしない若者、「フリーター」「ニート」と呼ばれる若者が急増しています。宮城県では、平成四年からの十年間でフリーターは約三倍、ニートは約二倍に増加しています。(図1・2)

全国でも同様の傾向にあり、最新の調査では全国のフリーターとニートの数を合

わせると二百六十五万人にもほり、もはや社会として見過ごすことのできない深刻な状況になっています(表1)。

変化する企業の雇用形態と若者の職業意識

景気が回復傾向にあっても、企業が正社員の採用を控え、アルバイトやパート、契約社員などの非正規社員の採用へ移行しているため、若者が正社員として働きたくてもなかなか就職できない状況にあるのもフリーターなどが増加している大きな要因です。また、アルバイトの方が自由で、「やりたい仕事が見つかるまでは無理に就職しなくてもいい」というように、若者の職業意識が変化していることも影響しています。このほか、親が有名企業に入社を希望する「地元に残って欲しい」などと考えているため、一時的にアルバイトをしているケースもあります。

さまざまな問題の引き金に

若者が定職に就かず、不安定な就業状態で過ごすことは、将来の人生設計にも大きな影響を与えます。ある民間企業の調査によると、フリーターが正社員と同じ仕事をしたとしても、生涯賃金では正社員の四分の一にしかならないという結果が出ています。こうした経済的不安定な若者が増えることで、若者の未婚・晩婚化がより一層進み、少子化がさらに加速するのではないかと懸念されています。

また、産業面においても、これまで培われてきた高度な技術や知識が次の世代に継承されず、企業の生産性が低下するといったおそれもあります。

みやぎを活気ある地域にしていくには、若者の潜在的な力を引き出し、社会や経済を支える大きな力として活用していくことが必要です。

若者の働く力を高める

県では、若者の就職を支援する取り組みを積極的に推進しています。

その中心的な役割を担う「みやぎジョブカレッジ」では、職業相談や就職に役立つ知識や技能を習得するセミナー、実際に会社などで仕事を体験するインターンシップなど、さまざまな事業を行っています。

また、新規卒卒者などを対象とした就職面接会を毎年定期的に開催しています。さらに今年度からは、家庭や学校、地域が

一体となって子どもたちの職業意識や勤労観の形成に取り組むことの重要性を広く理解していただくため、十月を「みやぎの若者の働く力を高める月間」と定め、講演会やセミナーなどの事業を集中的に実施する予定となっています。

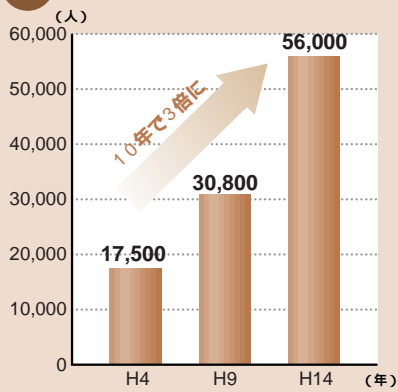
話し合ってみよう「働く力」

就職する段階で悩んだり戸惑ったりしないためには、子どもたちの心から将来の仕事について考えたり、実際に仕事の現場を見たり、体験したりすることで、職業意識や勤労観を身に付けることが大切です。子どもたちの就職はまだまだ先のことと考え、この機会にぜひ親子で「働く力」について話し合ってみよう。

お問い合わせ

労働・雇用対策課
022-(2111)2772
みやぎジョブカレッジ
仙台駅前アエビル十三階
022-(264)4510
http://www.miyagi-jobcage.jp
月～金曜日 午前10時～午後6時30分
土曜日 午前10時～午後4時
(職業相談のみ)

図1 県内のフリーター数



「就業構造基本調査」(総務省統計局)をもとに県労働・雇用対策課が集計・分析

図2 県内のニート数

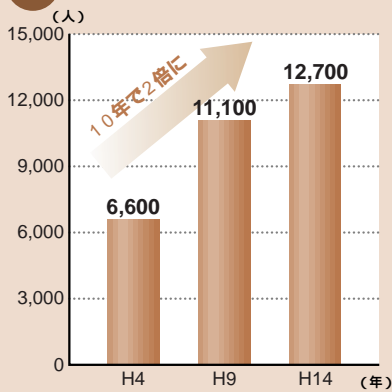


表1 全国のフリーター・ニート数(H17)

フリーター	201万人
ニート	64万人
計	265万人

宮城県の人口約236万人よりはるかに多い。

「平成18年版労働経済の分析」(厚生労働省)より

【フリーター】
学生および既婚女性を除く十五歳～三十四歳の若者のうち、パートやアルバイトをしている人および現在仕事をしておらず、パートやアルバイトの職を探している人
【ニート】
通学も家事もしていない十五歳～三十四歳の若者のうち、収入を伴う仕事を行わず、また仕事を探していない人

キャリア・カウンセラー 小島貴子さん

親は子どもの究極のサポーター

バブル経済崩壊後、企業が新規採用を控え、即戦力を求める傾向にあり、就職を目指す若者にとって厳しい雇用情勢が続いています。

就職活動は、「これまでの自分は何をしてきたか」と「これからの自分」となりたいのか、できるのかを厳しく問われます。中には、就職活動でつまづき、自信をなくし、やがて就職活動を放棄してしまう子どもも出てきます。

企業が悪い、親が悪いなどと悪者探しをしても意味がありません。その子についての最善の道を探ることが大切です。

親が就職活動に手を貸すのは過保護だという方もいますが、今の就職環境は昔とだいぶ違います。その子の状況をよく見極めないと、自立を促すあまり、孤立させてしまうこともあります。苦しんでいる子どもの一番の応援団にならなければならないのは親や家族です。「いつか」と指示したり、「早く決めなさい」とせかしたりするのは良くありません。子どもの現状をしっかりと受け止めることが大切です。そして、「どんなことなら好きになれそう?」「どういった問いかけにより、混乱した状態を整理する手助けをしてあげよう?」。



若者の就職支援で高い実績を誇り、「カリス・カウンセラー」の異名を持つ。現在は立教大学でキャリア教育に携わる。「就職迷子の若者たち」などの著書多数。

子どもたちは、自分に合った仕事を探す前に、会社を探してしまいがちです。子どもたちが口にするのはよく聞く有名な企業ばかり。まずは自分を見つめ直し、自分が好きになれそうな仕事を探してください。会社の名前は最後にたどり着くものです。私は子どもたちになるべく正社員で働くことを勧めています。正社員の魅力は経済的保障や安定性にあると捉えられがちですが、むしろ大切なのは責任ある仕事を成し遂げることによって得られる充実感や達成感だと思います。

若者の就職環境を改善していくには、働きたいと考えている若者と受け入れる企業や社会双方の抱える誤解やすれ違いを解消していく必要があります。若者の就職をめぐる問題がより多くの皆さんに理解され、一人でも多くの若者が自分に合った仕事に出会い、働く喜びを感じながら仕事ができるようになってほしいと願っています。



「三陸塩蔵ひがしもの」ロゴマーク
市や県の支援を

『三陸塩蔵ひがしもの』とは、秋口から初冬にかけて塩蔵市魚市場に水揚げされる天然生のメバチマグロの中で、「鮮度」「色」「うまみ」に優れ、魚市場の目利き・仲買人(の目)にかなったものに付けられるブランド名です。

メバチマグロの主漁場となる三陸東沖漁場は、世界四大漁場の一つに数えられるほどの好漁場で、この時期のメバチマグロは、サンマやイウシサバやイカなどの豊富な干辛を求めて北上し、赤身まで脂が乗っていることから、青森県大間の本マグロにも負けないおいしさを持っています。



「三陸塩蔵ひがしもの」
目利きのプロも注目する
塩蔵の生メバチマグロ

しかし、一般にはまだ広く知られていないことから塩蔵市魚市場では平成十五年度から水産業界の若手を中心に「塩蔵市魚市場ブランド化委員会」を設立し、

五年間から水産業界の若手を中心に「塩蔵市魚市場ブランド化委員会」を設立し、

五年間から水産業界の若手を中心に「塩蔵市魚市場ブランド化委員会」を設立し、

五年間から水産業界の若手を中心に「塩蔵市魚市場ブランド化委員会」を設立し、

塩蔵市水産振興協議会
(塩蔵市水産課内)
0222(364)2222

塩蔵市水産振興協議会
(塩蔵市水産課内)
0222(364)2222

塩蔵市水産振興協議会
(塩蔵市水産課内)
0222(364)2222

塩蔵市水産振興協議会
(塩蔵市水産課内)
0222(364)2222

東・西・南・北

みやぎ



伊藤さんの民話が
取られた本
百話を
よそ二
話はお
けた民
語り続

母が亡くなったことを機に、このまま途絶えさせるのはもったいないと語り部としての活動を始めました。これまでメディアや学校、公民館などで三十年余り

母が亡くなったことを機に、このまま途絶えさせるのはもったいないと語り部としての活動を始めました。これまでメディアや学校、公民館などで三十年余り

母が亡くなったことを機に、このまま途絶えさせるのはもったいないと語り部としての活動を始めました。これまでメディアや学校、公民館などで三十年余り

母が亡くなったことを機に、このまま途絶えさせるのはもったいないと語り部としての活動を始めました。これまでメディアや学校、公民館などで三十年余り



子どもたちに民話を語る伊藤さん



母から娘へ
地域の民話を語り継ぐ

気仙沼・本吉地域 **南三陸町**

第3回志津川おさかな通り大漁市
南三陸町志津川地区の中心部にある南町通り周辺には、海産物を取り扱う商店が多く立ち並んでいることから、この通りを「おさかな通り」と名付け、商店街の特色を生かした活性化の取り組みが行われています。

この取り組みの一環として、昨年に引き続き今年も「志津川おさかな通り大漁市」が開催されます。当日は今が旬の秋鮭やサンマなど農林水産物の即売会のほか、お楽しみ抽選会や海鮮鍋試食会なども行われますので、ぜひお出かけください。

日時: 11月12日(日)
午前9時～午後3時
場所: 南三陸町志津川南町通り
南三陸商工会
☎0226(46)3366

石巻地域 **石巻市**

「万石浦の亀伝説」地域の魅力を再認識しませんか
大正時代、たかさんのカキをつけた亀が万石浦に来たことから、本格のカキ養殖が始まったといわれています。いしのみき環境ネットでは、子どもたちに故郷への愛着や誇りを持ってもらいたいという思いからこの伝説をDVDにしました。これを記念して、式典とカキの料理コンテストを開催します。

日時: 11月22日(水)
第1部(午後6時～)料理研究家岸朝子さん記念講演ほか / 第2部(午後7時30分～)カキ創作料理コンテスト試食会(2部の参加は会費5,000円)
場所: 石巻グランドホテル
申し込みはFAX(住所・氏名・電話番号記入)にて(先着100人/11月12日(日)まで)

☎NPO法人いしのみき環境ネット((株)コーノ・古藤野さん)
☎0225(94)2255
FAX 0225(94)2259

登米地域 **登米市**

「市民参加の新たな森林づくり」～間伐体験と木炭アートセミナー～
今回開催する「市民参加の新たな森林づくり」は、間伐体験と木炭アートに取り組みます。間伐体験では、木の成長を促すため混み合った林の一部を伐採する作業を行います。また、木炭アートセミナーでは、木炭を使って癒しの空間を演出する自分だけの芸術作品を作ります。参加希望の方は、11月21日(火)まで電話またはFAX(住所・氏名・電話番号を記入)でお申し込みください。

日時: 11月25日(土)
午前10時～午後3時
定員: 先着50人
材料費: 500円
集合場所: 登米市登米総合支所

☎登米地方振興事務所林業振興部
☎0220(22)6125
FAX 0220(22)1604

栗原地域 **栗原市**

「くりでんフォトコンテスト」記憶に残る作品募集中
来年3月末で運行を終了する「くりでん」は、田園鉄道(通称くりでん)の姿を未来に残そうと、「くりでんフォトコンテスト」が行われています。募集作品は、くりでんの車内や外観などを撮影したカラーまたはモノクロの4つ切りサイズの写真を、入賞作品は栗原市と登米市のホームページに掲載されます。

皆さんのカメラでくりでんの姿を残してみませんか。

募集期間: 平成19年11月15日(月)まで
応募方法など詳しい内容は、下記にお問い合わせください。

☎くりでん五郷活性化協議会(事務局: 栗原市企画課内)
☎0228(22)1125
http://www.kuriharacity.jp/

大崎地域 **大崎市ほか**

パレットおおさき人形劇フェスティバル開催
パレットおおさきの秋の恒例イベントとなった「人形劇フェスティバル」が今年も開催されます。大崎地域のアマチュア人形劇団に気仙沼市からの出演団体も加わった7団体があつたかい手作りの人形劇を披露します。今年も、大崎地域の小学生3グループが、この日に向けて準備してきた人形劇を上演します。

また、「ひょっこりひょうたん島」の人形劇でおなじみのひとみ座による人形作りのワークショップが開催され、ひとみ座の皆さんのすばらしい人形劇も鑑賞することができます。ぜひ、ご家族でご来場ください。

開催期間: 11月18日(土)～19日(日)
☎パレットおおさき ☎0229(91)8611

仙台地域 **松島町**

松島でちょっと贅沢な三ツ星ランチを楽しんでみませんか
松島をはじめとする宮城の地場産品をふんだんに使った創作ランチ、「松島三ツ星冬ランチ」が今年も期間限定で提供されます。

「松島・四季彩食料コンテスト」の入賞作品を提供するこの冬ランチでは、「ちょっと贅沢な昼食」をテーマにした松島のプロの料理人によるこだわりの味が堪能できます。各作品とも2,500円(税込み)で、松島のホテルやレストランなどで11月1日(水)から2月28日(水)まで提供しています。

予約が必要な場合もありますので、詳しくは下記にお問い合わせください。

☎(社)松島観光協会 ☎022(354)2618
http://www.matsushima-kanko.com/

仙南地域 **丸森町**

自然薯やエゴマを使った料理が味わえる「農村レストラン味の里」
丸森町大内地区の国道113号沿いに、中山間地域を活性化させようと、「農村レストラン味の里」がオープンしました。

レストランでは、町の特産である自然薯やエゴマを使い、農家の女性たちが腕をふるった、自慢の料理を召し上がれます。「里の膳」では、エゴマだけの自然薯うどんや豆腐ハンバーグが楽しめます。このうどんは、長芋より粘りが強く、味や風味が抜群な自然薯を粉末にして練り込んだものです。

ぜひ、「農村レストラン味の里」の心尽くしの料理をご賞味ください。

営業時間: 午前11時～午後4時(毎週火曜日定休)
☎いきいき交流センター大内 ☎0224(79)3151

虹の地域から

虹メール

栗原地域 気仙沼・本吉地域
登米地域
大崎地域
石巻地域
仙台地域
仙南地域

介護講座

内容 = ①医療と福祉の連携②在宅死を看取る介護
日時 = ①11月28日(火)②12月1日(金)(いずれも午前9時45分~午後3時)
対象 = 医療・福祉従業者など各50人
費用 = 各3,000円
申込受付 = 11月1日(水)から下記で受付
☎県介護研修センター(大崎市鹿島台)
☎0229(56)9608
http://www.6.ocn.ne.jp/kenkaigo/

職業訓練指導員資格取得講習会

期間 = 11月27日(月)~29日(水)、12月4日(月)~6日(水)の計6日間
場所 = 宮城県職業能力開発協会
受講資格 = 1級(単一等級)技能検定合格者、職業訓練修了後に必要な実務経験を積んだ方など
申込期限 = 11月10日(金)
☎宮城県職業能力開発協会
仙台市青葉区青葉町16-1
☎022(271)9260
http://www.miyagi-syokunou-kyoukai.com/
☎県産業人材育成課
☎022(211)2763

みやぎ食の安全安心 消費者モニター募集

食の安全安心に関するアンケートや講習会などに参加するほか、県に対して食の安全安心についての提言をしていただくモニターを募集しています。
モニターとして登録された方には、食品表示のハンドブックを差し上げます。
対象 = 県内にお住まいの満18歳以上の方

募集期間 = 11月1日(水)~30日(木)
申込方法など詳しくは、下記へお問い合わせください。
☎県食と暮らしの安全推進課
☎022(211)2641

宮城県公立学校教育職員等 登録募集

職種 = 小・中・高校、盲・ろう・養護学校の臨時的任用職員または非常勤講師
資格 = 各教員免許状取得者、取得見込者
応募期限 = 12月15日(金)(平成19年4月から任用の場合)
登録方法 = ①電子登録...県教職員課ホームページから直接登録②書面登録...120円切手を貼った返信用封筒(角形2号)を同封し、県教職員課(〒980-8423住所不要)へ資料請求後、郵送で登録
☎県教職員課 ☎022(211)3632~3
http://www.pref.miyagi.jp/ky-teacher/

🌸 催し

みやぎコールセンター オペレータコンテスト

コールセンターで働きたいと考えている方にとって、業務内容をイメージできる絶好の機会です。就職相談もありますので、ぜひご参加ください。
内容 = ①オペレーターによる座談会②コンテスト受賞オペレータによる実演・最終審査、表彰③就職相談
日時 = 11月25日(土)午後1時30分~5時30分
場所 = せんだいメディアテーク
☎県情報産業振興室
☎022(211)2479
http://www.pref.miyagi.jp/jyoho-i

自然環境サポーター養成講座

自然環境に関する情報提供や各種調査にご協力いただくサポーターを養成します(受講無料、昼食持参、現地集合解散)。
内容 = 自然観察、クリスマス飾りづくり
日時 = 12月3日(日)午前10時~午後3時
場所 = 県民の森(利府町)
定員 = 30人(応募多数の場合、抽選)
申し込み = 11月15日(水)まで(消印有効)
往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、宮城県森林インストラクター協会(〒981-0121利府町神谷沢字菅野沢41)へ
☎県自然保護課 ☎022(211)2676
http://www.pref.miyagi.jp/sizenhogo/

自然教室開催

森の中にある木の枝や実を拾い、オブジェを作り、人と森の関わりを学びます。
期日 = 11月26日(日)
場所 = 県民の森
対象 = 20人(小学生は保護者同伴)
参加料 = 1,500円
申し込み = 11月24日(金)まで、住所、氏名、電話番号を、自然教室事務局FAX022(255)8223、または県自然保護課☎022(211)2674へ

みやぎ福祉機器体験フェア

内容 = ①福祉機器の展示と利用体験
②福祉機器に関する相談会
日時 = 11月18日(土)午前9時30分~午後3時
場所 = 登米市登米総合体育館(登米市健康フェスティバル会場内)
☎県健康対策課
☎022(211)2624

宮城県公文書館企画展

テーマ = 「野蒜築港再発見~みやぎ近代化の礎~」
内容 = 「野蒜築港」に焦点を当て、築港計画や街道・運河の整備に関する公文書など約80点を展示(入場無料)
日時 = 平成19年1月12日(金)までの午前9時~午後5時(月曜日・年末年始は休館)
☎宮城県公文書館
☎022(791)9333

障害児教育に関する公開講座

演題 = 「働く喜びを!健全者とともに!」
講師 = (株)サトー商会人事総務部 課長 太田博子氏
日時 = 12月2日(土)午後1時~3時20分
場所 = 宮城県特殊教育センター
申し込み = 11月27日(月)まで、下記へ
☎宮城県特殊教育センター
仙台市泉区南中山五丁目3番1号
☎022(376)5432
FAX022(376)5435

多文化共生社会を考える シンポジウム

さまざまな国籍や文化を持つ人が互いの違いを認め合いながら地域で共に生きていく「多文化共生社会」の実現に向けて、「災害」をテーマに考えます。
内容 = ①パネルディスカッション「災害と外国人」②防災関係のパネル展示
日時 = 11月19日(日)午後1時30分~
場所 = せんだいメディアテーク
申し込み = 11月17日(金)まで下記へ
☎県国際政策課 ☎022(211)2971
http://www.pref.miyagi.jp/kokusei/

ブランド戦略セミナー

テーマ = 中小企業における商標とブランド戦略(受講無料)
日時 = 11月27日(月)午後2時40分~5時
場所 = みやぎ広報室(県庁1階)
定員 = 80人(先着順)
申し込み = 11月17日(金)まで、(社)発明協会県支部☎022(264)1340、FAX022(266)8238へ
☎県新産業振興課 ☎022(211)2722

皆さんの省エネ行動を 教えてください

県では、省エネなどに取り組んだ方を対象にコンテスト(自然エネルギー等・省エネルギー大賞)を行います。事前に自分が取り組む予定の省エネ行動を宣言(申告)し、その行動を2カ月間実施した後、その結果を報告していただきます。
最も優れた取り組みを表彰し、副賞として省エネ家電を差し上げます。ふるってご応募ください。
宣言期間 = 11月1日(水)~30日(木)
取組期間 = 12月1日(金)~平成19年1月31日(水)
応募期間 = 平成19年2月1日(木)~13日(火)
☎県環境政策課 ☎022(211)2661
http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/

親子パネル劇場と 簡単!離乳食とおやつ教室

内容 = ①親子パネル劇場「かわいいかくれんぼ」②村上祥子さんの講演と簡単離乳食作り(参加無料)
日時 = 12月7日(木)①午前11時~12時②午後1時~3時(②は無料託児あり)

場所 = 仙台国際センター
定員 = ①②各300人(両方の申し込み可)
申し込み = 11月17日(金)まで、往復はがきに①か②の希望、住所、氏名、電話番号、参加人数、託児希望の場合は子どもの年齢・人数を記入し、下記(〒980-8570住所不要)へ(応募多数の場合、抽選)
☎県子ども家庭課
☎022(211)2531・2633

☎ 相談

犯罪被害相談窓口

警察では、犯罪被害者支援のため、各種相談窓口を設け、相談に応じています。また、被害者の遺族や事件後に障害が残った方などには、一定の条件の下、国が犯罪被害者等給付金を支給する制度があります。
詳しくは、県警察本部、または最寄りの警察署にお問い合わせください。
☎県警察本部犯罪被害者支援室
☎022(221)7171
http://www.police.pref.miyagi.jp/

暴力団問題相談所開設

県警察本部の担当者や弁護士が暴力団に関する相談に応じます(相談無料・秘密厳守)
日時 = 11月22日(水)午後1時~4時
場所 = 大河原駅前再開発ビル・オーガ2階イベントホール
☎暴力団追放宮城県民会議
フリーダイヤル☎0120(81)8930
☎県警察本部暴力団対策課
☎022(222)8930

ご案内

県有地の売り払い

【一般競争入札】

- 入札物件 = ①気仙沼市九条: 宅地1,398.94㎡
②大崎市古川中里二丁目: 宅地1,043.70㎡
③涌谷町字新町裏: 宅地361.61㎡
④栗原市栗駒中野瓦焼場: 宅地400.69㎡
⑤仙台市太白区青山一丁目: 宅地279.67㎡
⑥亘理町逢隈中泉字一里原: 雑種地2,870㎡
⑦山元町坂元字上南原: 宅地1,440.64㎡
⑧気仙沼市赤岩五駄鱈: (1)宅地385,18㎡
(2)宅地385,17㎡

入札日時 = 12月13日(水) ~ 15日(金)

場所 = 県庁内会議室

申込期間 = 11月1日(水) ~ 30日(木)

☎県財産利用推進室

☎022(211)2353

<http://www.pref.miyagi.jp/kanzai/>

県民健康・栄養調査にご協力を

県が新たに取り組む生活習慣病対策の参考とするため、調査を行いますので、ご協力をお願いします。

県民ロビーコンサート

日時 11月22日(水)午後0時15分 ~ 45分

場所 県庁1階ロビー

出演 Lotus(マリンバ・ピアノ・フラメンコ)

曲目 「美空ひばりメロデー」ほか

☎022(211)2527

内容 = 身体状況(身長、体重、採血、腹囲など)、生活習慣、栄養摂取、運動習慣などに関する調査

調査方法 = 書類調査、指定会場での面接調査、栄養調査員による訪問調査

対象 = 約1,000世帯、約3,000人(無作為)

☎県健康対策課 ☎022(211)2623

市場公募地方債(5年債)の発行

県、栗原市、登米市、加美町では、公共施設の整備に充てるため、地域住民向けの地方債40億円を共同発行します。

申込期間 = 11月16日(水) ~ 22日(火)(申込総額が40億円に到達次第受付終了)

利率 = 11月発行の5年国債を参考に決定
発行日 = 11月28日(火)

購入限度額 = 1人当たり200万円

取扱金融機関 = 七十七銀行、仙台銀行

☎県財政課 ☎022(211)2312

<http://www.pref.miyagi.jp/zaisei/>

刊行物のご案内

県庁地下1階の県政情報センターでは、さまざまな刊行物を販売しています(平日の午前9時 ~ 午後5時)

「みやぎ政策の風 第6号(価格70円/送料210円)①特集「みやぎのプロモーション戦略」②知事対談「みやぎの新しい観光を考える」

「宮城県社会福祉施設等一覧(価格180円/送料290円)

お買い求めの際は、在庫・送料確認のため、事前にお問い合わせください。

☎県政情報センター

☎022(211)2263

<http://www.pref.miyagi.jp/jyohokokai/hanbai.htm>

しつけと虐待は違います

11月は「児童虐待防止推進月間」です。しつけと称して暴力をふるったり、ひどい言葉や差別的な扱いにより心を傷つけたりすること、また、衣食住の世話をしないことも児童虐待に当たります。

「叱り方が限度を超えている」、「食事をさせていないようだ」など、少しでも児童虐待の疑いがあると感じたら、下記へご連絡ください。

連絡先 = 各市町村の担当課、県保健福祉事務所、地域子どもセンターの相談窓口、子ども・家庭110番 ☎022(211)4152(午前9時15分 ~ 午後4時、年中無休)

☎県子ども家庭課 ☎022(211)2531

県議会11月定例会開会

11月15日(水)午後1時から、11月定例会が開会します。本会議や委員会などなでも傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。

また、開会日にはラウンジコンサートも開催されます。

日時 = 11月15日(水)正午 ~ 午後0時30分

場所 = 県議会庁舎1階ラウンジ

出演 = 高橋竹仙(古代笛の演奏と巫女の踊り)

演奏内容 = オリジナル曲、童謡

☎県議会事務局総務課

☎022(211)3571

<http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/>

家計調査・小売物価統計調査にご協力を

これらの調査は、家計の収支や小売価格の面から国民生活の実態を明らかにするための調査です。調査員が伺いましたら、ご協力をお願いいたします。

☎県統計課 ☎022(211)2455

試験

平成19年度宮城県立高等技術専門学校学生募集

校名・科名 =

【白石】①OAビジネス②情報通信技術

③情報処理

【仙台】①精密機械加工②電気③建築製図

④広告看板⑤インテリア・サービス

⑥設備工事⑦ファッションビジネス⑧塗装

⑨自動車整備⑩電子制御システム

【大崎】①電気②建築

【石巻】①金属加工②自動車整備

【気仙沼】①OA事務②自動車整備

訓練期間 = 1年または2年(科によって異なります)

応募資格 = 高校卒業(見込みを含む)もしくは同等以上の学力を有する若年者

願書受付 = 11月8日(水) ~ 21日(火)

選考日 = 12月1日(金)

選考内容 = 学科試験(高校1年までに履修する基礎的な国語、数学の問題)、面接

☎県産業人材育成課

☎022(211)2762

<http://www.pref.miyagi.jp/sanzin/>

平成19年度宮城障害者職業能力開発校訓練生募集

対象 = 身体障害者(応募資格がありますので、詳しくはお問い合わせください)
科名 = ①OAビジネス科②デジタルデザイン科③福祉機器科④情報システム科
訓練期間 = いずれも1年
願書受付 = 11月1日(水) ~ 20日(月)

試験日 = 12月1日(金)

☎宮城障害者職業能力開発校

☎022(233)3124

FAX 022(233)3125

<http://www.4.ocn.ne.jp/~miyashou/>

宮城県職員採用選考考査

職種・採用予定者数 = ①一般事務(大学卒業程度)...若干名②一般事務・学校事務(高校卒業程度)...若干名
応募資格 = 身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1 ~ 4級の方(年齢制限などあり。点字などによる受験も可)

考査日 = 第1次考査...12月7日(木)、第2次考査...平成19年1月中旬

申込受付期限 = 11月17日(金)

☎県人事課 ☎022(211)2227

県立古川黎明中学校入学者選抜

定員 = 男女計80人

願書受付 = 12月12日(火) ~ 15日(金)正午

検査日 = 平成19年1月13日(土)

通学区域 = 宮城県全域

選抜方法 = 調査書、志願理由書、適性検査(テーマ作文、総合問題、集団面接)

募集要項配布先 = 同中学校、各教育事務所、県高校教育課

☎県立古川黎明中学校

☎0229(22)4260

FAX 0229(22)1024

教員採用臨時選考(看護)

職種・教科・採用予定者数 = 高校教諭等・看護...1人程度

資格 = ①高校看護の教員免許所有者・取得見込者②看護師免許を有し、看護師等としての実務経験が原則として5年以上の方

選考日 = 12月14日(木)

出願期間 = 11月20日(月) ~ 27日(月)

願書 = 県教職員課で配布。郵送希望の方は、120円切手を貼った返信用封筒(角形2号)を同封し、県教職員課 〒980-8423

住所不要)へ請求

☎県教職員課

☎022(211)3633

<http://www.pref.miyagi.jp/ky-teacher/>

募集

県営住宅入居者募集

受付期間 = 11月6日(月) ~ 13日(月)

申し込み = 11月13日(月)まで(消印有効)、専用の申込用紙を郵送

案内書 = 11月1日(水)から建築住宅センター、県営住宅所在の各市区町の担当課、

仙台市の各行政サービスセンター、各地方振興事務所、各公共職業安定所で配布

☎宮城県建築住宅センター

☎022(224)0014

24時間テレホンサービス

☎022(213)1861

<http://www.mkj.or.jp>

☎県住宅課

☎022(211)3252

みやぎの人口	県推計人口	男	女	住民基本台帳に基づく世帯数	外国人登録人口
平成18年9月1日現在	2,355,801人	1,145,589人	1,210,212人	883,605世帯	16,237人

県推計人口/国勢調査人口を基礎とした総人口 世帯数は、住民基本台帳に基づく平成18年8月末現在の世帯数